

第 133 回番組審議会 2026 年 5 月 15 日(金)開催

[出席委員]

井野瀬 久美恵 委員長、高見 孔二 副委員長、
橋爪 紳也 委員北川 チハル 委員、
原 美和 委員、中西 悠子 委員、
龍沢 正之 委員

[欠席]

松山 秀明 委員

[当社側出席者]

名取 亮介 編成部長
佐竹 雄大 営業推進部員
山下 めぐみ 事務局長
長沢 弥香 事務局員

議事の概要

- 1) 名取部長より、現況ならびに春編成についての説明。
- 2) 審議の課題番組について、委員からのご意見・ご質問をいただき、それに対して制作側から回答

審議課題

『心躍るゴルフを！PING×Respoism ジュニアゴルフトーナメント 25』
[2026年3月21日(土) 7時00分～8時00分放送]

各委員からの主なご意見

評価すべき点

- ・ジュニアのゴルフイベントの企画自体はとても良かった。
- ・将来プロゴルファーを目指す中学生や高校生にとって、プロのキャディが帯同してくれることは、技術的なこと以外にもプロとしての考え方などとても勉強になることも多い。
- ・予選を通過できなかった選手たちも、負けて終わりというわけではなく、しっかりと様々な学びのいい機会になったのではないか。
- ・プロのキャディという職業を知らなかった（また詳しく知らなかった）が、プロのキャディにスポットライトを当てているこの番組は面白い。
- ・実際にキャディの必要性・重要性もよくわかる番組であった。

こういった番組が制作できるのも、日頃からゴルフ中継やゴルフの番組を制作しているスカイAならではである。

気になった点

- ・イベント自体は良かったが、番組の最初の部分など、選手とキャディのペアリングを紹介する部分、同じようなことの繰り返しで、この時間が長く感じられる。
- ・実際に選手とキャディのペアリング紹介部分が長かったが、これによって何を伝えたいのか、何が狙いなのかがわかりづらかった。
- ・ペアリング紹介部分は、アップテンポでメリハリをつけ、もっと構成を考えるべきであった。
- ・密着しているのであれば、せっかくなのだから選手の緊張感や意気込み、真剣さが伝わるようなキャディさんとの会話の部分をもっと聞きたかった。
- ・学びの場でもあるのだから、このキャディさんとの会話をもっと重視し、様々な助言をいただいているところを紹介したり、その助言によって実際にプレーがどう変化したのかといったことも伝えて欲しかった。
- ・番組の中で、このよう様子を解説～というか、詳しく説明できる方がいれば良かったのではないか。
- ・ペアリングの決め方は、どのような方法だったのか？
- ・実際にギャラリーは入っていたのか？
- ・男子ジュニアにも同じイベントはあったのか？

こうした各委員のご意見を弊社制作者とも共有し、今後の番組制作の参考とし、更なる番組の質の向上に努めたいと思います。